

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中
送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年3月1日
派遣決定番号 [REDACTED]
報告回次 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	常総市	代表者名	神達 岳志		
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0297-23-2928		
担当者役職	主幹	担当者氏名	平塚 雅人	連絡先E-mail	
住所	303-8501 茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	オープンデータに関する取組に関して、海外をはじめとした幅広い事例を扱い、体系的に講演をいただいた。オープンデータに取り組むことが重要なだけでなく、住民の施策理解を深めるためにデータ活用及びオープンデータの取組が必要であることを示していただいた。
アドバイザーへの要望事項	要望事項は特になし。 講演の後、ワークショップを実施したが、時間が不足していたため、講演及びワークショップの全体時間の検証を当方でしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年2月21日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			15時00分	17時00分	
				活動時間 (分)	120
3-2. 派遣場所	会場名	常総市役所議会棟	最寄駅	水海道駅	
	所在地	茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3	最寄駅からの交通手段	徒歩 (900m)	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	市職員	20 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	オープンデータの取組を行っているが、推奨データセットのうち公開可能なデータのみでの公開にとどまっている状況である。公開しているデータがどのように活用されるのかといった活用の視点を各職員に意識してもらう必要があった。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	オープンデータ化することやデータの利活用が促進されることにより、データによる住民への説明が可能となる。データを活用した住民との合意形成ができる職員を増加させたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	日本国内のオープンデータの取組に関するこれまでの経緯及び目的の理解が促進された。オープンデータ化をはじめとするデータの利活用が促進されることにより住民との合意形成がより効果的になることを教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	講演及びその後実施したワークショップを通じて、データの分析手法や結果の見せ方を習得することができた。	

(具体的にご記入下さい)	<p>がしこと。 参加者がそれぞれの業務における課題や目標をテーマに、現状を分析するダッシュボードを作成することができるようになった。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	それぞれのダッシュボードをさらに分析し、今後のアクションを検討していくプロセスまでは取り扱うことができなかった。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>参加者全員がオープンデータの利活用について理解が深まったと回答。60%以上の参加者がオープンデータ化の取組をする意向を示した。今回地理情報システム担当者を対象として講演・ワークショップを企画したが、今後全職員向けの取組として展開できる可能性も考えられる結果となった。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	オープンデータとして公開しているデータ数を現在より増加させる。 データを活用した住民との合意形成ができる職員を増加させる。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



